

伊万里

Imari



馬

今年もあなたの笑顔が主役です！（昨年の『広報伊万里』を飾った笑顔）



今月の主な内容
 新年のあいさつ 2
特集 本を読む それはいつしか根となり翼となる 4
 パブリックインフォメーション 12
 陳さんが行く vol.5 14
 教育と文化 15
 みんなの広場 16
 ほがらかページ 18
 ほくの学校 わたしの学校 19
 スポーツ 20
 ぐらしのチャンネル 22
 お便り 24

広報 **1** NO. 575
 2002 (平成14年)

個性豊かで 自立した 地域社会の創造

明

けましておめでとうござい
ます。

市民の皆さんには、希望に満ちた
新年をお迎えのこととおよろこび申
し上げます。

昨年は、県内では初めて「男女共
同参画宣言都市」の宣言を行ったほ
か、総合的な子育て支援を行うため
のエンゼルプランや、情報化基本計
画など、21世紀のキーワードともい
える福祉、情報分野におけるまちづ
くりの指針策定に取り組みました。
また、家族が自然の中でゆつくり憩
えるファミリーパークの整備や、伊
万里駅周辺の中核施設となる東西の

駅ビルの建設など、本市の将来都市
像である「21世紀を拓く 交流と創
造の市民都市」の実現に欠かすこと
のできない大型プロジェクトに着手
することができました。

さらに、黒澤明文化振興財団によ
り黒川町で整備計画が進められてい
る黒澤明記念館については、記念館
の基本設計が行われ全体像が明らか
になるなど、本市の新たな広域的交
流拠点としての期待が大きく膨らん
でいます。

一方、現在の社会情勢は、少子・
高齢化をはじめ、人、物、環境問題
などのグローバル化や、IT革命と
もいわれる高度情報化が進展してい
ます。また、時代の激しい変化によ
り、これまでわが国の発展を支えて
きた社会経済システムが、従来のよ
うな役割を果たせなくなっており、
構造からの抜本的改革に迫られ、
国においては聖域なき構造改革が行
われようとしています。さらには、

市町村合併が推進されるなど、大きな変革の波が重なりあい、うねりとなって押し寄せています。

わたしは、このような情勢のなかにおいて、これからのまちづくりに求められている自立した地域社会を形成し、真のゆとりと豊かさを創造していくためには、市民の皆さんといっしょになつた協働のまちづくりと、地域経済の活性化を推進する施策を展開していきたいと考えています。

ことに、市民グループが自ら企画し、実施する事業に対して支援を行う『市民ゆめづくり計画支援事業』を、皆さんと行政との協働のシンボリックな事業として推進していきたいです。また、市町村合併につきましても、有田町、西有田町と研究を進めるとともに、わかりやすい情報提供を行い、合併についての議論を関係地域の皆さんとともに、深めていきたいと考えています。

都市基盤の整備につきましては、西九州自動車道や、国道498号大坪バイパスの整備促進に引き続き取り組みとともに、伊万里湾大橋の平成14年度開通に向け整備を促進しま

す。また、水資源の開発では、都川内ダムからの工業用水の本格給水を開始するとともに、大川町東田地区における井手口川ダムの建設促進に取り組んでいきます。

市街地においては、古伊万里文化の香る街づくりの一環として建設しています白壁づくりの工房古伊万里館（仮称）を、人が集い、街なかにぎわいを取り戻す施設として、関係団体と一体となつて、積極的な活用を図っていきます。

このような事業を中心として、個性豊かで自立した地域社会を築くため、原点にかえり『市民が主役の市政』を基本に、本年も市政運営に全力を傾注していきたいと考えていますので、市民の皆さんのなお一層のご協力をお願い申し上げます。

この新しい年が、皆さんにとりまして幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

伊万里市長

川本 明

本を読む

それはいつしか 根となり翼となる

「今振り返って、わたしにとって子ども時代の読書とは何だったのでしょうか。何よりもそれはわたしに楽しみを与えてくれました。そして、その後にくる青年期の読書のための基礎を作ってくれました。それは、ある時にはわたしに『根っこ』を与え、ある時には『翼』をくれました。この根っこと翼は、わたしが外に、内に橋をかけ自分の世界を少しづつ広げて育っていくときに、大きな助けとなってくれました」。

これは皇后陛下が、1998年インドで行われた『国際児童図書評議会世界大会』の基調講演で述べられた一節です。本を読むということが、人が成長していく過程において、いかに重要かを述べられたものだと思います。

今市内では、子どもたちの本に親しむ環境を充実したものにしたいという思いから、いろいろな取り組みが始まっています。今回は、そのような取り組みを紹介しながら、2002年、この新たな年に今一度『本を読む』ということについて、皆さんといっしょに考えてみたいと思います。





伊万里中学校区生きる力を育む行動委員会

本との出会いが 生きる力を育てる

11月25日、伊万里中学校区生きる力を育む行動委員会（伊万里中学校区の小・中学校と保護者、地域の代表で組織されている）が主催する『生きる力を育むフォーラム』が、大坪小学校でありました。テーマは『豊かな心を育む読書への誘い』。

これは、各小・中学校で数年前から始まった『朝の読書』、またそれに呼応して、保護者たちが取り組んでいる『本の読み聞かせ』などの事例を発表しながら、多くの本との出会いが、子どもたちの『生きる力』を育てていくのではないかとということについて、みんな考えてみようという催しです。

当日会場は、学校関係者や保護者など多くの人がつめかけ、基調講演から大坪小学校の事例発表、校区内の各学校の代表が集まったパネルディスカッションまで、熱心な議論が展開されました。

本を読むとはどういうことなのか

まず最初に、犬塚まゆみ伊万里市民図書館長が、本を読むということが子どもたちにとって、いかに大事かということについて基調

講演をしました。



犬塚館長は「本を読むことが、教育だと一般に取られがちですが、しかし本を読むことによつて、理解力や表現力、想像力、また推理力や応用力がついて、結果として教育力につながるのではないかと思います。学ぶ力は、経験量に比例するとよく言われていますが、人に与えられた一生の時間は限られています。ましてや、子どもでいる時間はもっと少ないのです。おのずとその中で経験できることも限られてきます。それを補ってくれるのが本だと思ふんです。一冊の本から行ったこともない世界の事情や風景、また自分が経験できないような場面を想像するといった間接的な体験をする、そのことが現実の困難に直面した時に、大いに役に立つと思ふんです」と話していました。

子どもたちは本の世界という扉の外で待っている

また「そのために、子どもと読書をつなげることが、たいへん必要になってくると思います。それには『よい読書環境を作ること』『親が本を好きになること』また『よい本を選ぶこと』の三つの要素が必要です。まず読書環境という面では、市民図書館ができたことで社会的な環境は整ったと思います。それと同時に子どもたちが多くの時間を過ごす学校や、家庭で読みたいと思った時に、すぐ身近に本がある環境を作る必要がありますね。また、環境だけ整えても親が本を読まなければ、子どもは読もうとしません。ですから子どもの本を準備する時は、親が読む本を同時に準備するといいたすね。それからよい本を選ぶことですね。本を選ぶのがむずかしいという人は相談してください。いい本がいっぱいあります。そのために市民図書館を大いに利用してほしいと思います。とにかく子どもたちは、本を読みたいと扉の外で待っています。どうかその扉を開けて、すばらしい本の世界に導いてやってください」と話していました。

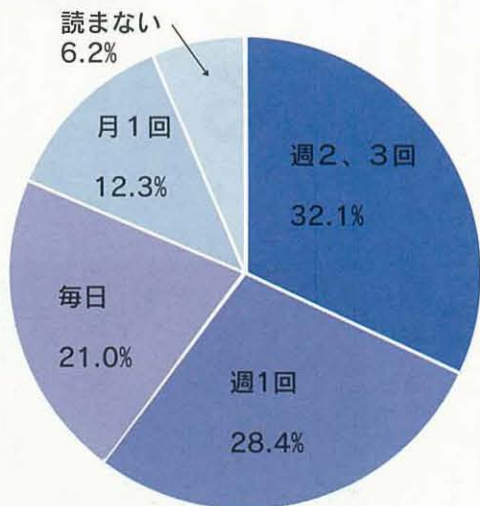
では読書の 現状はどうかな？

次に大坪小学校校育友会が取り組んだ『親子で読んだ一冊の本』という事例発表がありました。実際子どもたちはどれくらい本を読んでいるのか、どんな本が好きなのか、また親はどうなのか気になるところです。

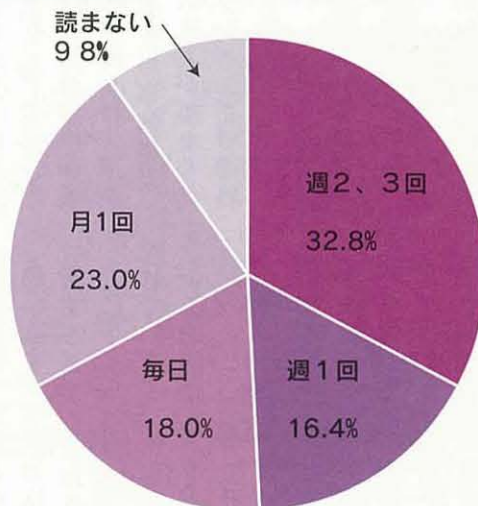
ここでは、その中で発表されたアンケート調査の結果について見てみたいと思います。

Q1 どれくらい本を読んでいますか？

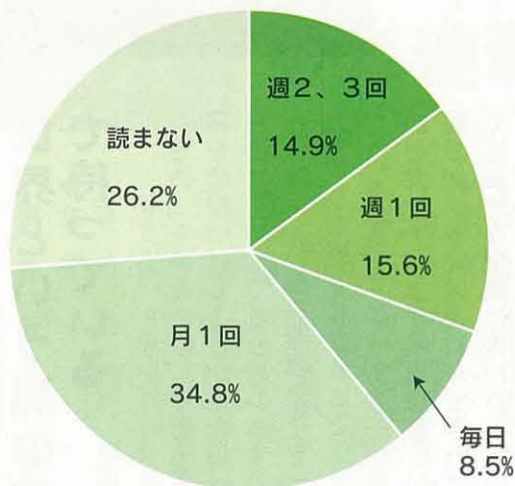
低学年



高学年



親



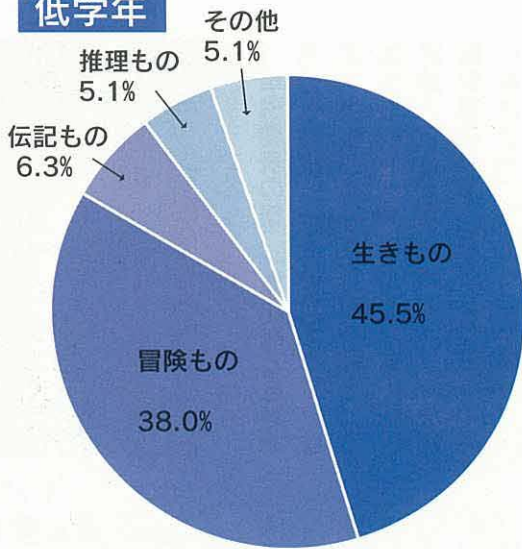
子 どもについては、週1回以上と答えた子が全学年で7割に達しました。中でも2割近くの子どもたちが、教科書以外の本を毎日読んでいるという結果がでました。これは学校で行われている『朝の読書』の成果だといえます。しかし、読まないという子が1割弱いるということが気になります。何で本を読まないのかについては、答えてもらえなかつたのですが、本を読む時間がないのか、本が嫌いなのが原因を調べてみる必要があると思います。

親 については、月に1回以上本を読むという人が7割を超えました。でもここで注目したいのは全然読まないという人が3割弱いるということです。グラフには表れていませんが、読まない理由に本が嫌いだと答えた人が多く見られました。いつから本が嫌いになったのか、このことは重く受け止める必要があると思います。

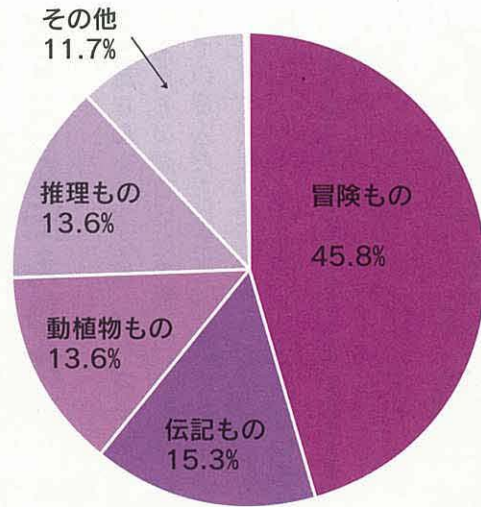


Q2 どんなジャンルの本が好きですか？

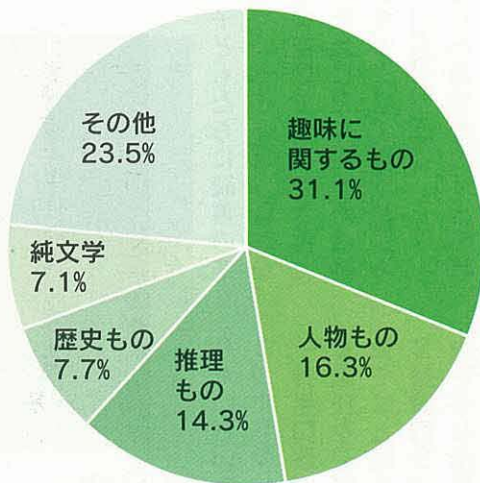
低学年



高学年



親

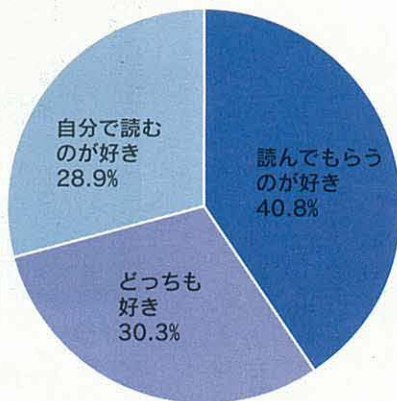


子 どもについては、低学年において圧倒的に生きもの関係と冒険ものの本が多いという結果ができました。これが、高学年になると冒険ものは多いものの、少しずつ多岐にわたったものになります。成長するに従って、興味を持つ対象が広がっていることがよく示されています。特に高学年になると推理ものの割合が高くなっています。だんだん読書に娯乐的、あるいはゲーム的要素を求める傾向にあるのかも知れません。

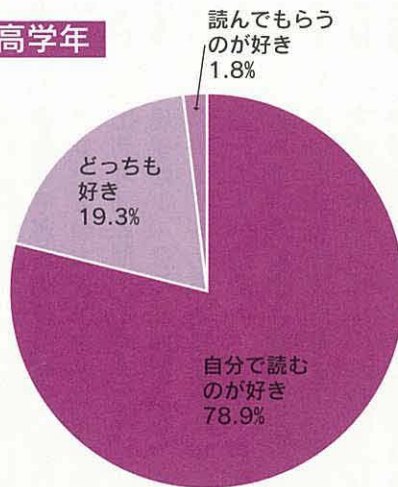
親 のグラフを見ると、多種多様な本が読まれているのがよくわかります。中でも注目は、自分の趣味に関する本をよく読むという人が3割にも達しました。読書を趣味、あるいは娯楽の一部としてとらえている人が多いことがよくわかります。

Q3 自分で読むのと、読んでもらうのどちらが好き？

低学年



高学年



子 どもに問いかけた結果です。低学年と高学年では傾向がまったく違います。やはり当然の結果かも知れませんが、高学年で、どっちも好きと答えた子どもがけっこういることがわかりました。子どもはいくつになっても、本を読んでもらいたいと思っているのかも知れません。

子どもものよりよい 読書環境のために

パネルディスカッション

伊万里中学校区生きる力を育む行動委員会

どうやって読書の 楽しさを伝えるか

▽古賀さん きょうは、日ごろ子どもたちの読書活動の推進に携わっている人たちに集まっていた

事例発表の後、『豊かな心を育む読書への誘い』というテーマの意見交換会がありました。今それぞれの学校では、子どもたちの読書環境をよくするために、どんな活動が行われているのでしょうか。それではさっそく、その意見交換の現場をのぞいてみることにしましょう。



パネラー
井手佳子さん
(伊万里中学校保護者)

きました。子どもたちに読書の楽しさを伝えていくことは、なかなかむずかしい問題です。皆さんたちは、そのためにどういった活動をしていますか。まずは学校から聞いてみたいと思います。

▽蒲地さん わたしは大坪小学校で図書主任をしています。大坪小学校では、各学年の教科と関連したものを、年間スケジュールを立てて、読書に取り組んでいます。わたしが担任している4年生のクラスでは、戦争や戦時中の生活に関連した本を集めて、クラスに学級文庫をつくりました。学習と読書に関連づけることで、もっと知



パネラー
井手口 篤子さん
(伊万里中学校教諭)

りたいという本に、出会うきっかけづくりをしたいと思います。

▽井手口さん 伊万里中学校で図書主任をしています。伊万里中学校では『朝の読書』を毎月後半の2週間行っています。今年の1年生からは年間を通してやってみよう、朝の読書を毎週行っています。その中で月に1回『風21』というボランティアアグループの人に読み聞かせしてもらっています。

▽古賀さん 次に保護者の皆さんはどういった活動をされているのでしょうか。

▽井手さん 伊万里中学校PTA生きる力を育む行動委員会の井手です。わたしたちは昨年から『親子読書』というものに取り組んでいます。アンケートをとったり、感想文を書いてみたりという活動です。一方『読み語り 風21』と称して、昨年5月から学校の朝の読書の時間に読み語りをしています。メンバーは30人ほどです。伊中の保護者に限らず、世代もさまざまです。

▽金子さん 大川内小学校の保護



パネラー
蒲地 陽子さん
(大坪小学校教諭)

者の金子です。わたしたちは9人のお母さんで、月に3回『お話し箱』という名称で、学校の朝の読書時間にお話を届けています。このころは子どもたちにも定着してきました。

▽末永さん 立花小学校の親子読書会、それと先ほどの『風21』のメンバーの末永です。立花小学校で朝の読み聞かせをやっています。現在は1、2年生に週1回、そのほかは月1回の読み聞かせを行っています。最初のころとくらべると、ずいぶん聞く姿勢もよくなりました。わたしたちは読む本を個人で選んでいます。なかなかむずかしいのですが、それがわたしたちの勉強にもなっています。

ひとりのお母さんの 小さな思いから

▽古賀さん 朝の読書時間に合わせた『読み聞かせ』がこの学校でも行われているようですが、これは立花小学校が最初に始められたんですね。



コーディネーター
古賀 直子さん
(大坪小学校保護者)



パネラー
金子 恵子さん
(大川内小学校保護者)



パネラー
末永 千代美さん
(立花小学校保護者)

▽末永さん 2年前に立花小学校でも朝の読書が始まったんですね。その時、あるお母さんが「自分の子は1年生で、字もろくに読めないのにその時間どうして過ごしているのだろう」と思い「自分が本を読んであげよう」と担任の先生に相談されたことからスタートしたんですね。これを学校が快く承諾してくれて、よければと成りのクラスでもということ、だんだんその輪が広がっていったんです。

▽古賀さん ひとりのお母さんの小さな思いを学校が受け止めて、協力してくれたんですね。大川内小学校では始めて1年になるのですが、ようすはどうですか。

▽金子さん 立花小学校や松浦小学校の読み聞かせの現場を見て「すてきなことだなあ」という思いがあつたんですが、なかなか踏み出す勇気がなかったところ、学校から「始めてみませんか」という話があつて、背中を押してもらいました。いろんな人に声をかけて何とか集まってもらいました。不

安がいつばいでしたが、最初にみんなでお話し合いましたところ、お互いがすごく暖かい気持ちになれたんですね。これがかつかけで『お話し箱』は始まりました。回数も増えて、今では月3回各クラスにいつてます。月3回で6年間だと、だいたい100冊の本を届けられることができます。そのことで子どもたちに読書に親しむ扉を開けてやることのできたらと思います、コツ取り組んでいます。

学校、保護者の活動、そして家庭の連携で

▽古賀さん 大坪小学校でも読み聞かせが行われていますが、子どもや先生のようにすはどうですか。

▽蒲地さん 大坪小学校でも昨年11月に始まり、現在月2回行われています。いい本ばかりなのと、語りがすばらしく、子どもたちが本の世界に引き込まれているのがよくわかります。この間、わたしのクラスで『命』の学習をしてい

ますということメンバーの人に話したら、それに関連した本を読んでいたできました。このように教師とメンバーが話し合いをして、連携をとっていくことで、読み聞かせがますます充実していくのではないかと思います。

▽古賀さん 中学校では、いったいどんな本を読んでいるのですか。

▽井手さん 中学校でどんな本を読んだらいいんだろうと悩んでいる時に、読み聞かせでは有名な村上淳子先生の本と出会ったんですね。その本の中には中学校でも絵本を読んでいると書いてあつたんですね。これだったらわたしたしでもできると思い学校に相談したら、すんなり受け入れてもらいました。学校に感謝しています。

▽古賀さん 中学校では、先生もいつしよに聞いているのですか。

▽井手口さん もちろん生徒たちといつしよに聞いています。絵本と聞いて最初びっくりしたんですが、耳で聞いて、絵を見てということに理解しやすいのか、子ども

たちは熱心に聞いています。アンケートをとった時にびっくりしたんですが「来てくださるだけでありがたい。とても皆さんに感謝しています」と生徒が書いていました。

▽古賀さん お話を聞いて、学校と保護者の協力で読み聞かせが充実してきているのがわかりました。では最後に家庭ではどうでしょう。

▽金子さん わたしが読み聞かせを始めてから、家で練習するんですね。わが子を目の前にして。そういうことが毎月あつて、親子のふれあいができてとてもうれしいと思つています。

▽井手さん 先ほど金子さんから6年間で100冊になるという話がありました。継続するとすごいなと思つきました。わたしたちの活動は、本を読むということのほんのきっかけづくりです。家庭で、週1回でもいいから本を読んで過ごす時間が持てたら、本というのが身近になって、それがいつかは、生きる力につながっていくのではないかなと思います。

伊万里おはなしキャラバン

子どもたちへ お話を届けたい

平成5年2月、当時小学校で「母と子の読書会」の活動をしてきたメンバー2、3人が自動車図書館「ぶっくん」とともに、生のお話を保育園に届けたのが「伊万里

おはなしキャラバン」(今年度代表 持永由美子さん)の活動の始まりです。読書会の活動をしていく中で、やはり小学生より小さな時期に、子どもたちの本に親しむ環境を作ってあげたいという思いがそこにはありました。

今では会員32人。年齢層も幅広く20代前半から60代まで、活動の中で出産や育児、子育てを体験しています。「だからお互いの都合を認めあい、自分のペースで活動ができるようにしているのですよ」と会員は話します。現在の活動は「ぶっくん」とともに、市内の保育園や幼稚園にお話しを届けています。時には、「ぶっくん」が行かない保育園にも単独で行っているそうです。また、毎週土曜日には、市民図書館の「おはなし会」で、職員といっしょに絵本の読み聞かせや素ばなし、紙芝居、パネルシアターやエプロンシアターなどを

行っています。

特に、本と子どもたちとの橋わたしになるようにと、会員の手で作られたパネルや紙芝居は、現在150作品にもなるそうです。このころはこの活動を聞きつけて、市外からの依頼も多くなっています。

て、県内や県外の市や町などに出かけてお話をすることもあるそうです。また、パネルを貸してくれという問い合わせも後を絶たないといえます。

この活動をしていて「いちばんうれしいことは」と尋ねると「子どもたちが喜んでくれることです。自分たちが持っている絵本に共感して、いっしょにその中に入っていく、その伝わっているという瞬間に喜びを感じます」。また「8年も活動していると、保育園だった子どもが中学生になるんですね。時々学校にいったりすると「あ、キャラバンの人だ」と声をかけてくれるのがうれしいですね」と会員は話します。

絵本のすばらしさを、小さい子どもたちに伝えたいということが活動の原点です。「とにかく絵本はすばらしいと思います。ほんとう



会員の手づくりによる『ジャックと豆の木』のパネルです。何か楽しさが伝わってくるようです

にいい絵本は大人でも感動します。時々読んでもらうと、子どものようにうれしくなります」と話します。今後は、未就園児へのお話し会や、そんな子どもを持つお母さんとかかわりを深めていきたいそうです。それには、もっともつと会員が充実してくれることを期待しているそうです。

「ボランティア活動に理解がある図書館が身近にあつて、わたしたちは恵まれていると思います。図書館といっしょにかかわりながら、同時に活動の幅が広がっている気がします」と最後に話してくれました。きょうもどこの保育園では、絵本を読む会員の姿と、それをじっと聞きながら空想を膨らませる子どもたちの姿が見られることでしょう。

そこには楽しい「お話」の世界が広がっています。



12月8日に行われた『クリスマスおはなし会』のようすです。子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした

ど

の廊下もシーンと静まりかえっています。その中に絵本を読む声が聞こえます。教室の中では、臨場感あふれるメンバーのお話に、じっと聞き入る子どもたちと先生の姿。伊万里小学校には、きょうもたのしいお話のプレゼントが届きました。

『おはなしプレゼント』（代表平川裕子さん）が活動を開始したのは昨年です。子どもたちの読書環境を豊かなものにしたという、学校の親子読書会のメンバーの思いつきからこの会は発足しました。でも、最初のメンバー集めには苦労したそうで、「自分の子どもに読んでみませんか」と呼びかけたリ、講演会を開いたりしてそうです。そのかいがあつて、一人、二人と増え現在のメンバーは35人。ほとんどが伊万里小学校の保護者ですが、中にはOBの人もあります。

現在は月1回土曜日に全学年、1年生から3年生は毎週、絵本の読み聞かせを行っています。全学年に行けるようになったのは、この2学期からで「来年度は、全学年とも毎週行けるようにがんばりたい」とメンバーは話します。

読み聞かせが終わわり、子どもたちいきよの本の感想を聞くメンバー。それにすなおに答える子どもたち。何か暖かな雰囲気が教室

おはなしプレゼント（伊万里小学校）

自分の子に読んであげるように



う催しに招待され、歌と楽器演奏をプレゼントしてくれました。最後に、いつもすてきな本を読んでくれてありがとうと言われた時は、涙が止まりませんでした」とその時の喜びを話します。

「子どもたちに読んであげた本が、学校の図書室にもあるようにしたい」というのがメンバーの願いです。この思いが実を結び、現在伊万里小学校の図書室の一角には『おはなしプレゼント』のコーナーが開設されました。しかし、本の購入資金集めには苦労しているそうです。

を包み込んでいます。一冊の本を通して子どもたち、先生、そしてメンバーの心がふれ合う、これも本の力なのでしょう。

メンバーの一人は「今は、楽しんでだけです。去年学校で行われた『サンキュー・フェスタ』とい

ここまで活動の輪が広がっているには、学校との連携がうまくいっていることが必要です。そのことについて伊万里小学校の小野原保子校長は「学校としては大歓迎です。本を読んでもらうことで、

子どもたちに集中力がつくし、何と言っても本は心を育ててくれます。これからは学校と地域がいつしよになつて子どもを育てていくことが必要です。『おはなしプレゼント』の輪が、どんどん広がっていくことを期待しています」と話します。

読み終えたメンバーは、図書室に集まり、さつそくきよの反省を行います。「あそこのクラスはこうだったよ」「きよは途中で間違えて子どもたちに笑われちゃった」とか明るい声が図書室に響きます。このお母さんたちの元気な姿とともに、子どもたちに贈られる絵本というプレゼント。それは何もにも変えがたい贈り物かも知れません。

「こんなおもしろい本があつたのかとときどき思うことがあります。読み方が上手なので聞き入ってしまいます。練習をそうとうしているんだろうけど、お母さんたちは忙しいのにありがたいと思います。今度は読み方を習ってみたいな」

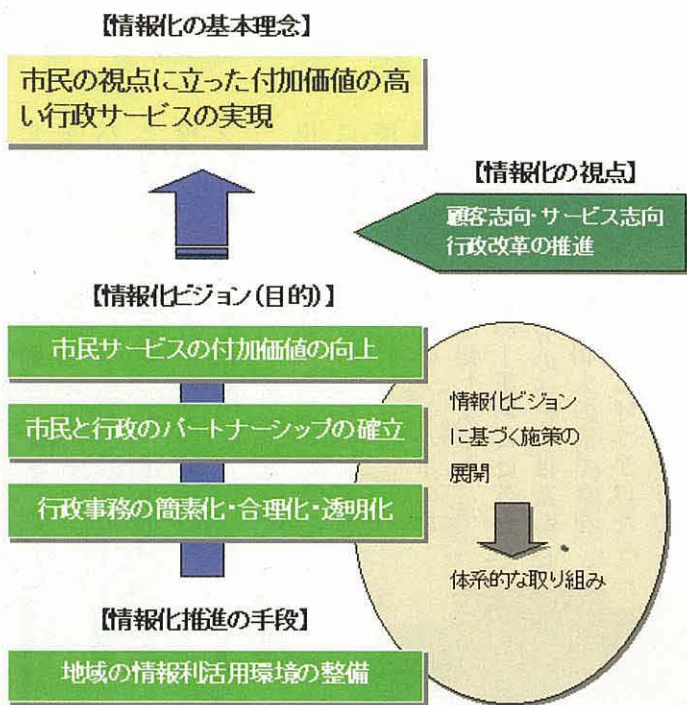


園史さん（左）馬場由佳さん（中央）松平くん（右）
感想を話してくれました

伊万里市情報化計画 とはどんな計画？

NO. 1

◆ 問合せ先 市情報推進課 (☎23) 21111 内線407



情報化計画策定の趣旨は？

21世紀を迎え、高度情報化社会への取り組みが多方面で急速に進展しています。

この要因は、情報通信技術の高度化や、パソコンなどの情報機器の低価格化、またそれによるインターネットを中心とした情報化が急速に進んだことなどが上げられます。皆さんも、すでに利用されている人が多いのではないのでしょうか。こうした情報化社会の高度化・大衆化が、今後ますます広がっていくことが予想されます。

そこで市は、高度情報化に対応するための伊万里市の方向性を検討し、教育や文化、福祉など、多方面にわたり情

報を活用したまちづくりを進めるため、「伊万里市情報化計画（e-いまりアクションプラン）」を策定しました。

情報化計画の位置づけと期間は？

この計画は、伊万里市第4次総合計画の中で定めている市民サービスの向上、

拡充のための各施策を、システム面から支援するために情報化を今後どう進めていくか示すものです。

計画期間は、情報技術の急速な進展など、社会環境の変化を考慮して、平成13年度から平成16年度までとします。

計画期間における到達目標は？

平成13年度から平成16年度までの計画期間では、特に『地域の情報利活用環境の整備』に重点を置いていきます。そこで、次の到達目標に向けて情報化を推進していくことにしています。

計画の到達目標

- ▼ 情報提供・発信拠点としての市役所機能の基盤強化
- ▼ IT（情報通信技術）を最大限に活用した行政事務情報化の展開
- ▼ 市民や職員のITに関する意識の向上

介護に関するあなたの身近なパートナー

ふれあい介護相談員制度を開始しました

**介護相談員制度とは
どんな制度？**

介護保険制度がスタートして1年半余りが経ちました。新しい制度のため、利用者には戸惑いが見受けられ、心配事も多いようです。

介護相談員制度は、このような状況を受け、介護サービス利用者の立場に立つて、サービスに関する日常的な疑問や不安の解消を図ります。また、よりよい介護サービスの提供をサービス提供事業者とともに創造していくことを目的として設置されました。

介護相談員は、伊万里市民生委員・児童委員協議会からの推薦により市が委嘱したもので任期は平成15年5月31日までです。「さわやか福祉財団」の40時間の研修を経て、いろいろな相談業務を行います。

**介護サービス施設
などを訪問します**

月に2回程度介護サービス施設などを訪問し、皆さんの相談に応じます。お気軽にご相談ください。

● 問合せ 市健康増進課
(☎2111内線254)

介護相談員の皆さんです



徳永三郎さん



松尾美智子さん



原田奈生美さん



松本輝彦さん

市では

**身体障害者を対象とする
一般事務職員を募集します**

▼ 受験資格

▽ 身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの人

▽ 昭和47年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた人

▽ 自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能な人

▽ 活字印刷文による出題および口頭による面接試験に対応できる人

▼ 募集人員 1人

▼ 職務内容 市長部局、各委員会などにおいて行政事務に従事します

▼ 受付期間 1月4日(金)～1月22日(火)

▼ 第一次試験

▽ 試験日 2月10日(日)

▽ 会場 市民センター

▽ 試験内容 高等学校卒業程度の教養試験

▼ 申込書の請求

申込書は、市役所総務課職員係(市役所3階)で配布します。郵送で請求するときは、封筒に「採用試験申込書請求」と朱書きし、120円切手をはったあて先明記の返信用封筒(A4サイズ)を同封してください

▼ 勤務条件

▽ 給料 初任給 14万1900円(高卒の場合)

※ 経験により一定の基準で加算されます

▽ 諸手当 通勤、住居、期末、勤勉、時間外勤務など諸手当が支給されます

▽ 勤務時間 午前8時半から午後5時15分まで、完全週休2日制です

▼ 申込・問合せ

☎ 848・8501 伊万里市立花町1355番地

1 市総務課職員係
(☎2111内線411)

「日中友好関係についての 陳さんの熱き思い」の巻

陳さんが行く!
VOL.5



伊万里市が交流している中華人民共和国の大連市から、公務研修生として陳 延明さんが来ています。そこで、5月から隔月で、陳さんに大連のことや伊万里での活動を「陳さんが行く!」として報告してもらっています。今回はその第5号。今後の日中友好関係について語ってもらいます。それでは、陳さんよろしくお願います。

新年あけましておめでとうございます。私の21世紀の幕開けの年は静かに過ぎ去りました。生まれて初めて故郷を離れて、しかも異国の地で一人暮らしを体験し、嬉しいことも悲しいこともいろいろありました。おかげで、人生というものは一体何なのか、生きている価値はどこにあるのかなど、少しわかるようになった気がします。今年もまたさまざまな試練が待っているかもしれません。人は困難と戦うことによつて自分を知り、自分を確かめながら、自分なりの人生

を描いていくのでしょうか。だから私も、これからどんなことがあっても、それに負けずにかんばっていきたいと思います。皆さんは新しい年に向かって、どんな願いを託したのでしょうか。私は日中両国の国民が、お互いの国情、文化を本当に理解し合い、そのうえで両国が真の揺るぎない友好関係を築いていけたらと心から願っています。

皆さんのイメージの中にある今の中国はどんな感じですか。「近くにあるが、何だか遠い国に感じる」と思われているのではないのでしょうか。日中両国の友好交流は中国の漢(紀元前206〜220)の時代にさかのぼることができ、隋、唐の時代に盛んになり、本当に「一衣帯水」の友好隣国でした。しかし、周知のように、近代に入ってから両国の間にとっても不幸な時期があつて、友好の扉を閉ざすことを余儀なくされました。1972年に国交が回復してからは、両国の指導者や各種訪問団の相互訪問、留学生の交流などによつて相互理解が深まってきました。しかし、残念ながらいまだに日本

の人々がイメージする中国は、まだ古い記憶の再生であり、新しい中国を知る機会が十分でない気がします。「中国にも焼き物がありませんか?」「中国には牛はいまですか?なぜ中国に行っても街中で見かけないのですか?」など、時々このたぐいのことを質問されます。これに対してどうやって説明したらよいのでしょうか。思わず苦笑いをしました。

確かに中国は、いろいろな面でまだまだ日本より遅れています。しかし、この世界は絶えず変化していて、中国も日進月歩の発展を続けています。グローバル化が進む現在、日本と密接な関係にある中国を正確にとらえることが一層大切になると思います。日本は世界第2位のすばらしい経済大国です。今後、世界で一番大きい市場を持つている中国との交流がますます盛んになることは、予想に難くありません。このような中、日中友好事業は、両国各分野における交流協力を大きく左右するものであり、その発展の方向は、皆さんの考え方によつて決められると言えるでしょう。

どう育
なよ教
んえ和
み考同
No.138

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で
人権問題について話し合ってみましょう。

育てよう愛と人権⑬

充実した 人生に！

新年を迎えるた
に、「今年こそは」の
気持ちがいってくるのではな
いでしょうか。その目標は人
それぞれですが、頑張り
続けたいものです。

さて、少子・高齢化は大き
な社会現象になっています。
年配の人からはよく「歳はと
りたくない」と聞きます。歳
を重ねることはいかんともし
がたいことで、要は生活年齢

ではなく精神年齢、つまり心
のもちかたが大事ではないで
しょうか。趣味、ものづくり、
同好会などでのたくさんの人
との交わりによって、和の
心・仲間の輪が広がり充実感
も深まっていくと思います。

ある年配の人たちの集まり
に参加する機会がありました。
そこには手や足の不自由な人、
目の不自由な人なども来てい
ました。茶菓子を食べながら
の話もはずんで、いろいろな
会話が聞かれます。「あんだ、
まあだ達者にしとかんば。こ
まかお孫さんの何人もおらす
たいね」「時にはみんなで旅行

に行つてゆつくりしたかね」
「じいちゃん、今日は病院に行
く日じゃろ、車で待つとくけ
んね」と声をかける家族の姿
も見られました。

高齢者にとつて、仲間との
会話や家族のちよつとした声
かけなどが何より心に響き、
生きる望みになっていと思
います。誰もが、遅かれ早か
れ迎える老い。充実した人生
にしたい願いはみな同じで
す。一度つきりの人生、晩年
を心豊かに暮らせる地域社会
づくりが大切です。その社会
づくりの土台になるのは家庭
です。

今年のがが家の目標のひとつ
に「家族の会話」や「だれ
でも一役」などを持つて、き
ずなを深めてはどうでしょう
か。
(市社会教育指導員)

おめでとつございます

徳永政夫さんが 地域文化功労者表 彰を受賞

このたび、地域の文化振興
に功績のあった人に対し、そ
の功績をたたえ文部科学大臣
が表彰する地域文化功労者表
彰を、徳永政夫さん（85歳

大川内町）が受賞されました。

徳永さんは、長年にわたり民
謡の普及・向上のため多彩な
活動を展開。現在も財団法人
謡協会佐賀西支部長を務める
など、地域の芸術文化の発展
に尽力されています。徳永さ
んは受賞の喜びを「この受賞
はみなさんの協力のおかげで
す。ありがとうございます」と
語っていました。

郷土の文化財

伊万里市の歴史（補足）

伊万里地方の代官

伊万里市の近世

佐賀本藩領は、現在の佐
賀市を中心とする地域と
西目（伊万里郷・有田郷・
山代郷の一部）とに分かれ
ていました。

藩主が直接、西目を治め
ることは難しかったので、
代官が派遣されました。領
主に代わつて年貢をとる役
人が代官です。

西目の初代代官は、慶長
19年（1614年）に伊万
里代官西目一通り心遣い
境目おさえ役になった中野
神右衛門清明です。

清明は、松浦町桃川の
下分の丘に館を構えていま
した。東分と上原との間に
馬ん頭（サイフオンの原理
で松浦川の水を水田にひく
用水施設）を築き、新田を
開いたといえます。元和6
年（1620年）7月18日
に66歳で亡くなりました。
現在、下分の丘には



中野神右衛門清明供養塔（松浦町桃川）

「照真院浄通禅定門」とい
う清明の戒名が彫られた供養
塔が建っています。毎年8
月18日には「浄通さんの市」
という清明の供養祭も行わ
れています。

この清明の子、山本
神右衛門重澄は、清明の
事績を受け継いで、初代
皿山代官や初代桶久牧奉行
になりました。また清明の
孫は、「葉隠」の口述者とし
て有名な山本神右衛門常朝
です。



みんなの 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 23-2111・内線207)



👉 みんなでかかれば勝てるかも? (12月1日)

東山代町川内野の山ん寺で『山ん寺祭り』がありました。この祭りは、松浦党の栄華をしのび、五穀豊じょうを祈願して毎年行われているものです。

当日は多くの参拝者が見守る中、恒例となった滝野小・中学校の子どもたちによる奉納相撲がありました。今年は、大相撲九州場所の三段目で優勝した、小城町出身の霧の藤関も参加。大きな体にたじろぐ子どもたちの姿に、境内には声援や笑い声が響いていました。



👉 人命救助への協力を感謝します (11月28日)

大川野郵便局職員の山本展嘉さんに、伊万里警察署長から感謝状が贈られました。山本さんは郵便配達中に、一人暮らしの女性が家の中で倒れているのを発見。勤務先へ連絡し、職場と連携して救急車の手配などを迅速に行い、尊い人命を救いました。

👉 実際の仕事はたいへんです (11月20日)

青嶺中学校の2年生が、市内のいろいろな企業で職場実習をしました。うどん店で接客を学んだ元川裕加里さんら4人は「お客さまを迎えることを教えてもらいました。大きな声であいさつをする、笑顔を決やさないなどたいへんだった」と話していました。



👉 春にはあたり一面が菜の花畑に (11月28日)

松島町の脇田川沿いの田んぼに、伊万里小学校の高学年と、伊万里商業高校1年生のそれぞれ280人がペアになって菜の花の苗を植えました。これは今年度から始まった『菜の花プロジェクト』の一つとして行われたもので、一面の菜の花で覆われる春が楽しみです。





👉 **あなたにも天使が微笑むかも (11月23日)**

伊万里が生んだ偉人、森永製菓の創始者森永太郎翁の生涯を演劇に仕立てた『天使が微笑んだ男』の公演がありました。勝野 洋さんふんする太一郎が、結婚式の席で自分の生い立ちを妻に語る形でお芝居は進められ、観客は時がたつのも忘れて聞き入っていました。



👉 **皆さん交通安全をお願いします (12月9日)**

交通安全を願い、南波多町のふるさと村で「さがんロード道の駅セーフティキャンペーン」が行われました。参加した南波多中学校の生徒や地元の交通対策協議会役員、交通安全母の会会員は、ドライバーにチラシなどを配りながら、安全運転を呼びかけていました。

👉 **訓練だけドキドキしました (11月26日)**

金融機関の防犯訓練が九州労働金庫伊万里支店でわれ、市内の金融機関から40人が参加しました。警察官がふんする強盗が拳銃を振りかざし大声を出すなど、まさに本番さながらの訓練が行われ、職員は緊張しながらも冷静、沈着に対応していました。



👉 **ふるさと山の美しい紅葉を願って (11月18日)**

伊万里建設業協会が、『土木の日』に国見有料道路沿いの湖畔公園周辺に紅葉樹木の植栽を行いました。この日は、参加者全員で49本のかえでを植栽。協会では、みんなの目を楽しませる散策道路になるようにと、今後も毎年植栽を続けていく予定です。



**みんなで一つの
ハーモニーを奏でる**

小、中学校の音楽会が、小学校は11月7日、中学校が同14日、それぞれ市民会館でありました。

小学校では、通常の合唱や合奏のほか、初めて和太鼓が登場し、会場をあつと驚かせていました。また中学校では、ブラスバンドが迫力ある音をとどろかせたり、ハンドベルが繊細な音色を響かせたり、多彩な演奏に会場は酔いしれていました。

みんなそれぞれが、自分の持ち場に一生懸命に取り組む姿と、そこから生み出されるハーモニーは見るものを引きつけ、演奏が終わると会場は、感動の拍手が鳴り止みませんでした。



ほがらが



ページ

なかなかボールが止まってくれませんか

二里小学校



11月9日、二里小学校で小学生とお年寄りとのグラウンドゴルフ交流がありました。
これは、二里町老人クラブ（会長西田岩男さん、会員数

700人）が青少年との交流事業の一つとして、今回初めて取り組んだものです。

当日は、老人クラブから会員20人、二里小学校からは6年生の児童57人が参加。いっしょにグラウンドゴルフを楽しみました。

まず、簡単な競技の説明があったあと、会員と子どもがペアになり、8組に分かれてさっそくプレーを開始。中にはこの競技を、見るのもきょうが初めてという子もいました。ボールがなかなか思ったところに行かず「止まれ、止まれ」と叫びながら、ボールを追いかける姿もあり、参加者の笑いを誘っていました。

みんなが書いた似顔絵は はたして似てたのかな？

伊万里市東部デイサービスセンター ユートピア（大川町）を11月19日、南波多小学

校の児童が訪れました。

これは、これからの高齢化社会に向けて、福祉に目を向けることが必要と、同小学校のボランティア委員会と音楽クラブが合同で行ったもので、今回が2回目の訪問となります。



当日は、4年生から6年生までの児童23人が参加。同施設のデイサービス利用者30人を中心に、学校で練習してきた手品やゲーム、楽器演奏などを披露しました。手品などでは、なかなか思ったようにいかない場面もありま

したが児童たちの懸命の演技に、会場からは、まるで自分の孫の姿を見るかのように、盛んな拍手が送られていました。

最後は、子どもたちが利用者それぞれに似顔絵を書いてプレゼント。自分が書くおじいちゃん、おばあちゃんの顔と、用紙を見比べながら一生懸命筆を走らせていました。

「似顔絵がうまく書けています。きょうはいいプレゼントをもらいました。楽しかったです。みんなよく勉強しています。手品とか楽器演奏とかなかなか上手でしたよ。わたしたちも負けられませんね」



似顔絵を書いてもらった毛利キクヨさん（大川町宿）

四季の詩

胸高に春著の帯も廿なる

船屋町

中島不識洞

新春の集ひは楽し祝盃を

拳ぐれば老いも華ぎにけり

東山代町長浜

藤谷

広暢



わぼくの学校 わたしの学校



滝野

中学校

沿革

昭和29年、滝野中学校ができました。

学校の特徴

- 所在地 伊万里市東山代町
滝川内3453番地
- 創立 昭和29年
(1954年)
- 生徒数 27人
- 校長 前田泰雄



紹介してくれた、
西田哲也さんと吉永有希さん

私たちの滝野中学校は、全校生徒27人ですが、「一番小さな学校の生徒でも一番大きく見える生徒になろう」と、5月のお茶つき作業をはじめ、何でも一生懸命に取り組み、一人ひとりが輝ける学校づくりをめざしています。

体育大会や学習発表会では、お年寄りの人たちを招待



さつまいもの収穫のようす

し、いっしょに競技をしたり、竹とんぼなどの昔の遊びをしてふれあいを深めています。

11月に行われた市内音楽会では「We are the world」の合唱に挑戦。自分は地球に生きるひとりの人間だと思いを胸に、全校生徒が一つになって歌い、思い出深い音楽会になりました。

また、6月には芋さしを行い、収穫したさつま芋を山ん寺祭りの時に販売し、収益金はアフガン難民への義援金としました。「私たちにできること」からやってみようとボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

滝野中学校は一番小さな学校だけど、これからも他校にはない特色を出し、一番大きく見える生徒になっていこうと思います。

ほほえ美さん

かじやまともこ
梶山 智子さん(24歳)

★新天町3区

★さそり座・A型



智子さんは、東山代町にある佐賀トヨペット(株)伊万里営業所に勤めて3年目。唯一の女性社員として、受け付け業務をしています。

休日には、ドライブがてら買い物に行くことが趣味だという彼女。まとめ買いはしなものの回数が多いので、気づいたらけっこう洋服を買ってしまっているそうです。

彼女が現在やりたいことは、温泉旅行。「仕事ながら、休みが平日になってしまえば、友達とかなか遊ぶ機会がないんです。だから、温泉に行つてゆっくりしたいですね」と笑顔で話してくれました。

わが家の アルバム

よしとみともひろ
吉富 友拓くん (2歳
5か月)

★信一・幸代さんの次男

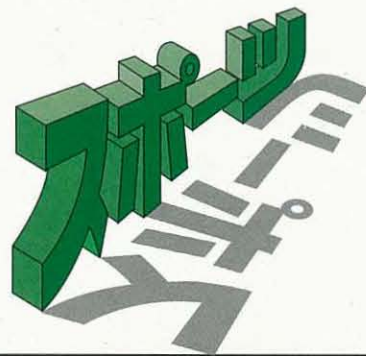
★本町2丁目



元気がたくさんあって、お友だちをいっぱいつくって、みんなに好かれるような人になってね。

お母さんからひとこと

ほくは、トンテントンが大好き。だから、おくんちが終わっちゃった今でも、毎日お兄ちゃんと太鼓やかけ声の練習してるんだよ。早く大きくなつて、本物の太鼓をたたけるようになりたいな。きつとほくのほうがお父さんよりもうまいと思うよ。



1月の町民スポーツ

- 20日(日)
●牧島町民グラウンドゴルフ大会
13時開会 牧島小学校
- 2月3日(日)
●伊万里町民卓球大会
9時開会 啓成中学校
- 大川内町民卓球大会
8時半開会 大川内小学校
- 山代町子ども会卓球大会
8時開会 山代公民館
- 大坪地区ラージボール卓球大会
9時開会 国見台体育館

1月の市民スポーツ

- 12日(土)、13日(日)
●伊万里ニューイヤー杯少年サッカー大会 9時開会 国見台陸上競技場ほか
- 13日(日)、20日(日)
●県新春一般
バスケットボール大会
9時開会 国見台体育館
- 14日(月)
●新春古伊万里ロードレース大会
10時20分スタート
伊万里駅通り～瀬戸町早里
- 26日(土)、27日(日)
●伊万里市ミニバスケットボール大会
9時開会 国見台体育館
- 27日(日)
●東西松浦駅伝大会
10時スタート 有田町役場

サガン鳥栖サッカースクール

Jリーガーが やって来た!



「サガン鳥栖」の選手が直接指導する「サッカースクール」が、11月30日、滝野小・中学校でありました。

このスクールは、地元佐賀を本拠地として活動しているプロサッカーチームサガン鳥栖が、地域の子どもたちに夢とスポーツのすばらしさを伝えようと、県内を中心に行っているものです。

伊万里市では今回が初めての開催で、指導に訪れたのは渡辺大輔選手、島袋信介選手、

シユナイダー潤之介選手の3選手。まずは体育館の中で、選手たちの自己紹介や質問コーナー、デモンストレーションが行われました。

質問コーナーでは「どうしてサッカー選手になったのですか」の問いに、選手たちは「勉強が嫌いだったのでサッカー選手になりました」などユーモアを交えながら答え、会場は終始なごやかなムードです。デモンストレーションでは、プロ選手の華麗なボールさばきに、生徒たちは感嘆の声をあげていました。

また、グラウンドで行われたミニゲームでは、選手対生徒が対戦。プロの選手を相手に奮闘する生徒たちの歓声と先生たちの声援が、豊かな自然に囲まれた校庭にこだましていました。

～名村カップ伊万里ジュニア駅伝～

伊万里小学校男子 が4連覇を達成!



名村カップ2001伊万里ジュニア駅伝が、12月2日、国見台陸上競技場で開かれました。この大会は、小学生を対象に毎年開かれているもので、ロードレースと駅伝競走の部に分かれ熱戦が展開されました。

駅伝の部には、市内外から男子42チーム、女子22チームがエントリーし、男子では伊万里小学校チームが4連覇を飾りました。

主な競技結果は次のとおりです。

【駅伝の部】

▼男子(市内の部)

- 優勝 伊万里小学校
2位 大川内小学校A
3位 黒川小学校A

▼女子

- 優勝 伊万里三香クラブA
2位 須古かけっこクラブ
3位 北波多IRC

【ロードレースの部】

▼男子

- 優勝 中島大誠
(大川少年野球)
- 2位 下野聖明(伊万里)
- 3位 鳥山陽介(伊万里)

▼女子

- 優勝 西 沙織(牧島)
- 2位 井手恵利奈(二里)
- 3位 松尾理乃(牧島)



市内一周駅伝競走大会 二里町が王座奪還 2年ぶりに優勝！

第48回市内一周駅伝競走大会が、11月25日、各町の代表144人が出場して開かれました。

コースは、市内一周61・8キロ。相生橋など、途中3か所の再スタート地点を含む、12区間で健脚を競いました。

緊張した空気があたりを包み込む8時45分、山代町浦ノ崎駅前を一齐にスタート。

レースは序盤から、昨年の上位3チーム、大坪、二里町、山代町が引っぱる展開となりました。最初の再スタート地点である相生橋にトップで飛び込んだのは、3区牧瀬が区間新記録の快走を見せた二里町。遅れること51秒差で大坪、その後、山代、南波多などが続々ゴールしました。

女性ランナーが健脚を競う唯一の区間である4区では、二里町の井手ゆかりが、5区走者の兄である井手貴教へトップでたすきリレー。勢いに乗って井手は、5区で区間新記録の快走を見せました。

その後、コースは波多津町を経て南波多町、大川町、松浦町へと舞台を移しながら最終12区へ。中盤から終盤にかけても、安定した走りでした。きをつないできた二里町が、

ゴールの市役所前へトップでゴール。終わってみれば、12区間中、8つの区間賞を奪う安定した力を見せた二里町が、2位大坪に6分2秒の差をつけて、昨年の雪辱を果たし見事優勝を飾りました。

また、前回の成績からタイムを5分24秒縮めた東山代町が躍進賞を獲得しました。

優勝 二里町

2位 大坪 (3時間32分47秒)

3位 山代町 (3時間38分49秒)

- ④東山代町 ⑤松浦町 ⑥南波多町 ⑦牧島 ⑧波多津町 ⑨伊万里 ⑩大川内町 ⑪大川町
- ※黒川町はオープン参加

躍進賞 東山代町

区間賞 (⑧区間新記録)

- 1区 山口光吉 (山代町)
- 2区 福田 太 (大坪)
- 3区 牧瀬光之 (二里町) 新
- 4区 井手ゆかり (二里町)
- 5区 井手貴教 (二里町) 新
- 6区 齋藤勝巳 (大坪)
- 7区 峯 哲也 (二里町)
- 8区 内田邦夫 (大坪)
- 9区 松本慎市 (二里町)
- 10区 小川 恒 (二里町)
- 11区 中尾啓司 (二里町)
- 12区 城島良介 (二里町)

おめでとうございます

体育功労賞と

スポーツ賞

11月25日、市の体育振興に顕著な功績があった次の16人と9団体へ、平成13年度の体育功労賞とスポーツ賞が贈られました。

(順不同、敬称略)

《体育功労賞》

- ▼田中勝利 (波多津町)
- ▼敵松尾久男 (松浦町)
- ▼井上真太郎 (大坪町)
- ▼敵齋藤 誠 (南波多町)
- ▼前田 猛 (立花町)
- ▼貞方喜延 (山代町)
- ▼浦田一男 (松浦町)
- 《スポーツ賞》
- ▼仁戸田 彩 (伊中3年)
- ▼灰崎興太 (伊高3年)



《体育功労賞》

- ▼松尾達也 (伊高2年)
- ▼本山勇樹 (有工3年)
- ▼江口良子 (伊商3年)
- ▼啓成中学校男子バレー部
- ▼啓成中学校サッカー部
- ▼伊万里高校男子水泳部
- ◇第54回県民体育大会優勝者
- ▼弘川俊彦 (立花町)
- ▼犬塚雅士 (大坪町)
- ▼江頭仙太郎 (松島町)
- ▼原賀聰子 (立花町)
- ▼陸上競技一般男子チーム (51人出場)
- ▼陸上競技男子400リレーチーム (弘川俊彦、岩藤一人、山崎秀人、上田淳嗣)
- ▼陸上競技女子400リレーチーム (原田智子、森万利子、前田知子、力武純子)
- ▼水泳男子100リレーリレーチーム (山本修三、犬塚雅士、横尾 洋、西山和男)
- ▼ボウリング伊万里市Aチーム (9人出場)
- ▼ゲートボール伊万里市Cチーム (波多津町)



お知らせ

新春恒例！伊万里えびす祭

新春恒例の「招福・伊万里えびす祭」が、1月14日、市街地を会場に開かれます。

宝船七福神パレードや、いき鯛・いき車エビが当たる福運抽選会、備蓄米「たくわえくん」のプレゼントなど、楽しいイベントがめじろ押し。ご家族やお友だちをお誘い合わせのうえ、お越しください。

期日 1月14日(月)

《内容》

- 宝船七福神パレード
- ▽時間 午前11時～11時50分
- ▽コース いますい通り～銀天街～本町名

店街～駅通り～本町名店街
● 福運抽選会

▽時間 正午～午後3時

▽会場 本町名店街(親和銀行広場前)

※福運券(500円)は、エルトウン伊万里の各店でお求めください

● 備蓄米「たくわえくん」プレゼント(アンケートに協力した人先着300人)

▽時間 午前11時半～

▽会場

本町名店街(黒澤明記念館サテライトスタジオ前)

● 問合せ

伊万里えびす祭実行委員会

(☎227200)

戦傷病者等の妻への特別給付金

● 対象者

①平成5年4月2日から平成13年4月1日までに戦傷病者の妻となった人

②戦傷病者等である夫が、平成5年4月1日から平成8年9月30日までに公務傷病以外の原因で死亡された人

● 請求内容

①額面15万円の国債(軽傷者は半額)

②額面5万円の国債

● 請求期限

平成16年9月30日

● 問合せ

市福祉課社会福祉係

(☎22111内線255)

特別永住者の元軍人・軍属への弔慰金

● 対象者

昭和12年7月7日以降の公務傷病により

①昭和16年12月8日以降死亡された人の遺族

②重度の障害の状態にある人の遺族

③重度の障害の状態にあった人の遺族

● 請求期限

平成16年3月31日

● 問合せ

市福祉課社会福祉係

(☎22111内線255)

知的障害者の更生相談所巡回相談

● 対象 知的障害者や、その家族など

● 期日 1月8日(火)

● 会場 市民センター

● 内容 療育手帳、施設への入所、医療、年金、職業、生活などについて

※事前に申し込みが必要です

● 申込・問合せ

市福祉課社会福祉係

(☎22111内線261)

市民会館落成30周年記念

NHKラジオ「ひるの散歩道」公開録音の観覧者募集

◆日時 2月22日(金)

◆開演 午後6時

◆会場 市民会館

◆出演

瀬川瑛子、渥美二郎、島津悦子、多岐川舞子

◆入場料 無料

◆観覧申込 往復はがきで申し込んでください

※応募多数の場合は、抽選で1人1枚の観覧整理券



瀬川瑛子



渥美二郎

を送付します

◆募集期間 1月7日(月)～2月1日(金)

◆放送予定

NHKラジオ第1放送にて

2月25日～27日の

午後12時半～12時55分

◆申込・問合せ ☎840・8601 NHK佐賀放送局「ひるの散歩道」係

(☎095225009)

ひるの散歩道・応募ハガキ記入例

<p>往信</p> <p>8408601</p> <p>NHK佐賀放送局</p> <p>「ひるの散歩道」係</p> <p>(往信面・表)</p>	<p>記入不要</p> <p>観覧整理券の文面を印刷し、返信いたします</p> <p>(返信面・裏)</p>
--	--

<p>返信</p> <p>ご自分の住所・名前、郵便番号をお書き下さい</p> <p>(返信面・表)</p>	<p>ご自分の</p> <ul style="list-style-type: none"> 郵便番号 住所 お名前 電話番号 <p>をお書き下さい</p> <p>(往信面・裏)</p>
---	---

1月の行事

市民センター ☎ 23911

- 13日(日) アジアの子どもたちを支援する会チャリティーセミナー 12時半 2000円
- 20日(日) 山田洋次監督作品「十五才」映写会 14時、18時 前売 大人1000円 小人500円
- 27日(日) ふれあいコンサート・バザー 13時 300円

市民会館 ☎ 27105

- 13日(日) 伊万里市消防出初式 10時 関係者
- 14日(月) 伊万里市成人式 10時半 関係者

市民図書館 ☎ 234646

- 10日(木) 一映「グランド・ホテル」 13時半 無料
- 13日(日) 子映「風の谷のナウシカ」 14時半 無料
- 16日(水) 一映「グランド・ホテル」 13時半 無料
- 20日(日) 一映「クイズ・ショウ」 13時半 無料

◇子ども放送局(番組上映)
12日(土) テーマ「環境」 10時半 無料

◇特別企画「女性セミナー公開講座」
27日(日) 池田龍雄さん講演会 13時半 演題「児童書とさし絵」
27日(日) ~2月3日(日) 池田龍雄さん原画展

※毎週土曜日 お話し会 14時半~
※都合により上映時間を変更することがあります

市民相談

会場:市民相談コーナー
時間:10時~15時 無料・秘密厳守

- 法律 (木) 10.17
- 交通事故 (火) 8
- 行政 (水) 16
- 人権 (火) 8.15
- 身障者 (月) 28
- 消費生活 (月) 7.15.21.28
- 女性就業 (水) 9.16.23.30
- 社会保険 (金) 4.11.18.25

(会場:第1面接室)

- ボランティア相談...毎週月曜日 10時~15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談...毎月第3火曜日 10時~16時 会場 市民ロビー

「困ったな」「おかしいな」と思った時は、お気軽に市民相談コーナーへご連絡ください。

☎ 232111 (内線226)

- **在住外国人生活巡回無料相談**
- 対象 県内で生活している外国人
- 日時 1月29日(火) 正午~午後4時(随時受付)
- 会場 市民センター
- 相談言語 英語・中国語・日本語
- 相談員 (財)佐賀県国際交流協会相談員
- 問合先 県在住外国人相談窓口 (☎0952)27830
- 市男女協働・国際交流課 (☎23111)内線496

ぼしゅう

カルチャー入門講座 男の料理教室

- 対象者 市内または市近郊に在住の男の人
- 定員 30人
- 期間 (計8回開催) 2月~3月の毎週月曜日の午後1時半~3時半

- 会場 市民図書館
- 講師 池田龍雄さん(画家・伊万里市出身)
- 演題 児童書とさし絵
- ※池田さんの原画展を1月27日~2月3日まで図書館展示室にて開催します
- 問合先 市民図書館 (☎234646)

健康づくり 太極拳教室

- 対象者 市内在住の一般男女
- 期日 2月1日~3月5日の毎週火・金曜日 午後7時~8時
- 会場 市民センター
- 参加料 1000円
- ※スポーツ傷害保険料を含む
- 定員 30人
- 申込期限 1月25日(金)

1月10日は、『110番の日』

次のようなときは、ためらわずに110番してください

- ▶ ドロボー・ひったくりなどの被害にあったとき
- ▶ 倒れている人を見たとき
- ▶ 交通事故にあったとき、交通事故を見たとき
- ▶ 不審な人を見かけたとき
- ▶ けんかを見たとき
- ▶ 爆発音やけん銃の発射音など、不審な物音を聞いたとき
- ▶ 人の悲鳴を聞いたとき

※そのほか、警察への相談は #9110へ

市軟式野球連盟のチーム登録

市軟式野球連盟は、平成14年度のチーム登録を受け付け

- 申込・問合先 市教育委員会体育保健課 (☎23111)内線465
- 申込期限 1月21日(月)
- 申込・問合先 (市産業部調整室) (☎23111)内線372

※登録申請書は事務局に準備しています



我が伊万里よ、永久に幸あれ

神奈川県川崎市 尾原 久子さん

故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらつしやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。
このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りを紹介します。

昨日晩秋の故郷伊万里に帰りました。山懐に抱かれた幼き日を懐かしみ、両親や祖父母の墓参り、そして竹馬の友を見舞い、厚生年金休暇センターで同窓会に出席しました。昭和19年の戦争真ただ中で卒業した100人ほどの



同級生も、物故者や病氣療養中などで出席者は3分の1程度でした。
10代の青春時代に帰り「朝日に匂う天山や夕日に映ゆる国見山。姿やさしき伊万里富士、伊万里の海のはの白く景色清らの我が母校」と合唱。胸が熱くなりました。市議会で活躍中の先輩は幼友達。夜10時過ぎまで語り尽くしました。
一期一会、この年になると次はいつ出てこられるかと少々欲張り、慌ただしい旅程をこなし満足して

帰宅、とても充実した1週間を過ぎました。
上京してはや50年。望郷の思いやみがたく、伊万里出身の私はテレビで伊万里の「伊」の字でも出ようものなら、もうワクワク。目を皿のようにして見入りま

す。陶磁器「伊万里焼」の産地、伊万里梨・伊万里みかんはとてもおいしく、とてもすばらしいところですが、と故郷を自慢できることをとても幸せに思っています。
戦局厳しくなるにつれ自転車も使えなくなり、一里の道を歩いて通学。下駄の鼻緒が切れて石のゴロゴロした県道を裸足で通学したこともあります。それが健康のもとになったのでしょうか。また、おやつ代わりに煮干をかじったり、

ヨモギなどの野草を常食したのもよかったと思われます。古希を過ぎても骨密度良好。病気の神に見捨てられ、地域の福祉活動を生きがいにも忙な毎日をご過ごしています。ボランティアグループで、ミニデイサービスや高齢者の昼食づくりをしていっしょに食べたり、食生活改善の勉強、在宅介護で苦労する家族の援助や、行政の手の届かない時間帯をスポットサービスで補助など、まだまだ私たちの出番はいっぱいあります。

介護保険が始まる半年前から、川崎市の介護認定審査会に、介護福祉士として月に2回出ていましたが、脳血管障害で半身不随になり寝たきり、痴呆、転倒して骨折など、介護保険の利用者は増えるばかりです。また、自立の人の体力低下や引きこもり防止などの「さわやか活動」にも力を入れ、生涯現役で元気なうちは少しでも社会に貢献できたらと思っています。
我が故郷伊万里も高齢者にやさしく、住みよいまち日本一になるようにお願いし、伊万里のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。



今月の焼物

色絵鶴文皿

見込みには、染付・濃い赤・濃い緑と白抜きを効果的に用いて、力強く屹立する鶴を描いています。背景には、染付によって放射状に線書きされた松文を、リズミカルに散らしています。円形の画面いっばいに、長寿の象徴である鶴と松をおさめた構成が巧みです。よく似た構図が、古伊万里の色絵の七寸皿や鍋島の青磁染付の五寸皿にあることが知られています。デザインや文様が、後の鍋島とのつながりを想像させる作品です。

色絵鶴文皿

伊万里 1650年代
高さ 2.8cm 口径 15.0cm 底径 8.9cm

人のうごき

平成13年12月1日現在		
●人口	59,891人	(一) 30)
男	28,518人	(一) 31)
女	31,373人	(+) 1)
●世帯	20,255世帯	(+) 2)
	()	は前月比

広報伊万里 2002-1
■発行日/平成14年1月1日
■発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111
〒848-8501佐賀県伊万里市立花台1-1-1
■伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp>
■印刷/株式会社三光